

## 情 報 公 開 文 書

研究の名称	膵切除における門脈/上腸間膜静脈合併切除に関する手術手技および臨床病理学的因子の検討
整理番号	R2021134
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	消化器・腫瘍・総合外科 教授 藤井努
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 2001年1月から2022年11月までに富山大学附属病院で膵切除術を施行した症例と今後当施設で施行する症例、およびCTを撮影した患者を対象とします。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 膵臓は解剖学的に門脈/上腸間膜静脈に近接しているため、しばしば腫瘍が門脈/上腸間膜静脈に直接浸潤することがあり、これを合併切除再建することがあります。吻合血管径の差や門脈/上腸間膜静脈切除長から術後の血栓や狭窄の合併症が報告されています。本研究では、種々の膵切除術において門脈/上腸間膜静脈合併切除再建に関連する合併症を低減するための方法の確立と定型化に向けて、関連する術後合併症と手術手技および患者背景などを含む臨床病理学的因子との関連を解析します。この研究は研究責任者が所属する富山大学倫理委員会の承認を得た臨床研究として行われ、用いられる情報は富山大学に保管されます。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 富山大学附属病院で膵切除術を施行された症例およびCTを撮影した症例を対象に、医療記録を基にした匿名化データを用いた後ろ向き観察研究</p> <p><b>【研究期間】</b> 2022年1月6日から2027年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 学会発表および学術雑誌への掲載による公表 本研究の研究計画書などの詳しい情報を知りたい方は、相談窓口までお申し出ください。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>手術日</p> <p>年齢</p> <p>性別</p> <p>身長</p> <p>体重</p> <p>PS</p> <p>既往歴</p> <p>術前採血データ(白血球数、赤血球数、血小板数、好中球数、リンパ球数、単球数、</p> <p>Alb、ChE、AST、ALT、総ビリルビン値、直接ビリルビン値、ICG、T-Chol、CRP、プレアルブミン、HbA1c)</p> <p>術後化学療法の有無、レジメン</p>

	<p>術前臨床病期</p> <p>術後臨床病期</p> <p>術式</p> <p>手術時間</p> <p>出血量</p> <p>残膵所見(soft / hard pancreas、主膵管径)</p> <p>門脈/上腸間膜静脈切除長</p> <p>血管吻合方法</p> <p>吻合した血管の径</p> <p>門脈再建グラフト使用の有無、グラフトの種類</p> <p>術後採血データ(白血球数、赤血球数、血小板数、好中球数、リンパ球数、単球数、</p> <p>Alb、ChE、AST、ALT、総ビリルビン値、直接ビリルビン値、ICG、T-Chol、CRP、プレアルブミン、HbA1c)</p> <p>術後 CT 画像所見</p> <p>術後膵液瘻の有無と Grade</p> <p>術後ドレーン生化学 (AMY、TG)</p> <p>膵液 AMY</p> <p>術後膵液瘻の発症日</p> <p>術後膵液瘻に対する治療法</p> <p>術後膵液瘻の治癒した日</p> <p>その他の出血、腹腔内膿瘍、発症日、治療法、治癒した日</p> <p>最終確認日</p> <p>予後</p> <p>再発有無、再発形式</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	<p>富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科(第二外科)</p> <p>教授 藤井 努</p> <p>本研究に関する情報の他機関への提供はありません。</p>
研究資料の開示	<p>研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。</p>
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	<p>富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科</p> <p>教授 藤井 努</p>
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7331</p> <p>FAX 076-434-5043</p> <p>担当者所属・氏名</p> <p>富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科</p> <p>助教 渋谷和人</p>